

地域コミュニティ活性化市町村担当職員研修会

「大刀洗町」 事例発表

令和元年7月29日(月)

地域振興課 自治振興係 渡邊 直也

大刀洗町について



人口：15,651
世帯：5,579
面積：22.84km²
高齢化率：25.9%

4小学校区、25行政区。
区長は現在、非常勤の特別職として町が委嘱。

※人口、世帯は令和元年6月末現在



菊池校区

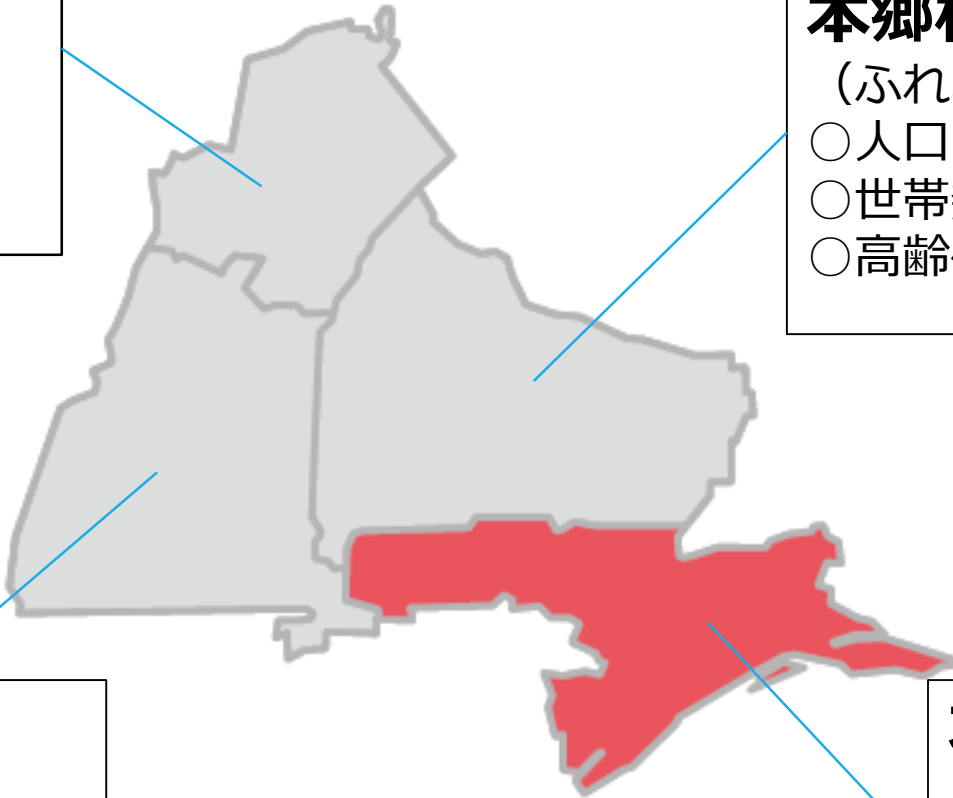
(就業改善センター)

- 人口 : 5,448人
- 世帯数 : 2,028世帯
- 高齢化率 : 21.2%

本郷校区

(ふれあいセンター)

- 人口 : 4,370人
- 世帯数 : 1,484世帯
- 高齢化率 : 27.1%



大刀洗校区

(南部コミュニティセンター)

- 人口 : 3,086人
- 世帯数 : 1,089世帯
- 高齢化率 : 29.9%

大堰校区

(憩いの園大堰交流センター)

- 人口 : 2,316人
- 世帯数 : 767世帯
- 高齢化率 : 33.7%

本日の流れ

- ①大刀洗町の校区コミュニティ自主運営までの流れ
- ②校区コミュニティを形成する上でのポイント
- ③行政の関わりについて

1-1 校区を中心とした地域づくりを行うようになったきっかけ

これからの行政は人口減少と少子高齢化により、
拡大する公共領域を行政だけで担うことは困難。



公共領域を担う多様な主体が必要



今後、地域づくりは不可欠

1-2 校区コミュニティの自主運営までの流れ

H21年度 指導員(嘱託職員)を配置し、校区センターを常時開館。

(以前は、貸館で鍵は区長か役場に借りに来ないといけなかった。)

H22年度 役場職員(課長職)を配置し、センターの独自運営にむけた地域との調整。

H23年度 センターの独自運営にむけ、各センター役員が検討。

H24年度 役場職員完全引き上げ。地域住民で運営が開始

1-3 ねらい

地域コミュニティの活性化を図るため、各校区センターに職員を配置し、各校区センターへの管理運営業務に従事させるとともに、まちづくり活動を行う団体や町民の**自主的な**地域活動を支援・育成する。

このことに伴い、管理運営委員会の事務局業務は各校区センターに配置する職員の業務に位置づける。

また、各校区センターが地域コミュニティ活性化のために利用できる統合補助金の交付や町民団体からの発案による地域づくり事業を支援する仕組みを検討する。

(平成22年1月13日全員協議会提出資料)

2-1 校区コミュニティの活性化を進める上で

大刀洗町が地域づくりで大事にしていること。

「対話」(ダイアログ)

対話とは、「討論(ディベート)」のように、物事に白黒をはっきりつけるようなやり方ではなく、相手の意見を最大限尊重し、相手の立場に立つことで新たな解決策を導く話し合いのスタイルです。対話のメリットは、多様な意見がでる、参加による気づき、関係性(つながり)が構築される。前向きな次のアクションにつながるなど様々です。



コミュニティセンターで何ができる？



地域が**コミット**するセンターに！

地域でこんなことやってみたい！



課題解決より未来創造

みんなで課題をほじくって
不幸のどん底から立ち上がるよりも。。。



まずは「自分」ができるところから！

事例紹介 大堰校区

ホタルの保全活動

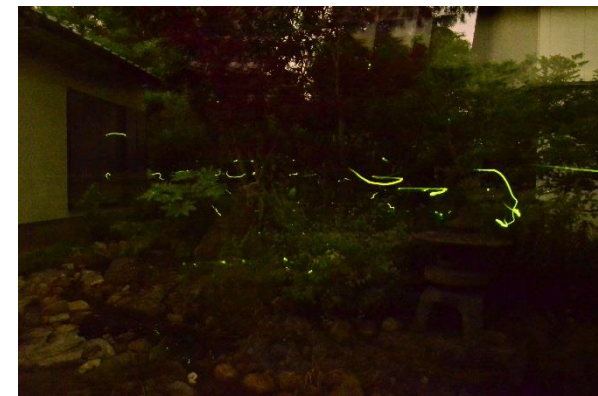


事例紹介 大堰校区

ホタルの保全活動



河川環境保全活動



事例紹介 本郷校区

“人生を楽しくカッコよく”をテーマに健康づくり



ラジオ体操



健康体操

事例紹介 本郷校区

“人生を楽しくカッコよく”をテーマに健康づくり



ウォーキング



案山子づくり

事例紹介 大刀洗校区

校区巡回バス

2度の試行運転の末、
平成29年12月より3回
目の試行運転開始。

ルートを買い物と病院に
特化し作成した結果、
大成功！



事例紹介 大刀洗校区



できる・できないの議論を重ねるのではなく

「走らせてみる」ことを前提に、地域に合った
運行計画を、地域で立てる

※誰も利用しないのであれば、改善・中止すればよい。

100 の議論より、1の実行

事例紹介 菊地校区

カラオケ

カラオケを通じて、楽しく
健康づくり、仲間づくり



3-1 行政の関わりについて

財政支援

- ・4校区一律**300万円**の補助金。
(事務局人件費、清掃費、消耗品費、事業費等)
- ・コミュニティ助成事業(250万円上限)
- ・集落支援員配置(一人年60万円)
(4校区に配置)

その他支援

- ・月1回のセンター長会議にて、各校区の情報共有
- ・FBによる情報発信支援
- ・視察研修先の情報提供
- ・県などの情報を提供。

3-2 自主運営後の主な出来事

平成25年度～平成27年度 地域おこし協力隊による企画取組支援。

平成28年度 「公共空間活性化補助金支援事業」スタート。

平成29年度 「新しい地域コミュニティーフォーラム」開催。

平成30年度 第5次総合計画策定に合わせて、住民ワークショップを経て、「校區別構想」作成。

校区コミセンもFacebookへ！

役場のフェイスブックページ開設に伴い、役場と4校区がフェイスブックページでつながる。



よりリアルな町の風景を発信中！

センターの情報をリアルに発信

facebook 友達、スポット等を検索

Hiromi Kawasaki 皆さんの写真にお疲れさまでした。ライスどうてもおおいかったです！
11月13日 19:42 · いいね！ · 1

ふれあいセンター Hiromi Kawasakiさんー子ども達にお伝え致しますね！(^^)！
11月15日 10:22 · いいね！

コメントする...

ふれあいセンター
10月21日

観月会ふれあいコンサート (写真16枚)
10月19日(土) 午後5時30分～ふれあい観月会が行われました。(・o・) 午後3時から地域の皆様による準備が行われ、出演者のリハーサルがあり、午後5時30分より開演！美味しい団子とふかし芋を食べながら楽しく過ごしました。

観月会ふれあいコンサート・大刀流スライドショー (写真) (写真11枚)
観月ウォーキングが終わり、いよいよふれあいコンサート。幸久恵さん(ピアノ)とスリーピーズ(3つの音) 江上英子さん(大鼓) 太田愛子さん(中鼓) 横川やなぎさん(小鼓)の皆さんの演奏と歌声はとて素晴らしい。観客の皆さんは歌声に聞き入りました。大刀流スライドショーではフォトグラファー・ライターの小林由明さんによる、「大刀流の魅力」の映像が写し出されました！(^^)！ 写真撮影：田嶋孝三氏

いいね！ · コメントする · シェア

柴田 侘子さんが「いいね！」と言っています。

コメントする...

ふれあいセンター
10月21日

地域おこし協力隊が活躍

センターの活用を企画



おひゆぎんランチ

(持ち寄りお昼ご飯)

6月27日 木 11時～13時

何をするとね？

1人1品ずつ料理やおやつを持ち寄り
おしゃべりをしながらみんなで作った
お昼ごはんをつまもう！というものです。
(持ち寄る物は手作りでなくても構いません)



老若男女
年齢問わず参加できます！

参加費は無料です！

会場

本郷ふれあいセンター
大刀洗町本郷 2848-1

持ち物

1品料理やおやつ (簡単なもので構いません)
(お申し込み時に何を持っていく予定か伺います)

申込先

本郷ふれあいセンター
Tel. 0942-23-2211

主催：大刀洗町役場 企画財政課 自治振興係 (地域おこし協力隊)

おひゆぎんランチ

地域おこし協力隊がメイン料理を作りもてなす。
参加される地域の方は、得意な料理があれば、
自由に持ち寄り、一緒に食事を楽しむ企画。

おひゆぎんランチ

(持ち寄りお昼ご飯)

6月27日 木 11時～13時

何をするとね？

1人1品ずつ料理やおやつを持ち寄り
おしゃべりをしながらみんなで作った
お昼ごはんをつまもう！というものです。
(持ち寄る物は手作りでも構いません)



老若男女
年齢問わず参加できます！

参加費は無料です！

会場

本郷ふれあいセンター
大刀洗町本郷 2848-1

持ち物

1品料理やおやつ (簡単なもので構いません)
(お申込受付時に何を持っていく予定か伺います)

申込先

本郷ふれあいセンター
Tel. 0942-23-2211

主催：大刀洗町役場 企画財政課 自治振興係 (地域おこし協力隊)

私たちの学校

地域の方々の得意なことをみんなで教わる。
手を動かし、ものづくりをしながら、コミュニティを
つくっていく。



メリーメリークリスマスパーティー

日時:12月14日(土)17時~20時

会場:就業改善センター(菊池)

住所:大刀洗大字山隈1711~3

☎:080-8380-5734

主催:大刀洗町就業改善センター
クリスマスパーティー実行委員会

お問合せ:地域おこし協力隊

奥平・川崎

☎:0942-77-0173

入場無料

2013

Merry Merry Christmas Party

アメリカのジャズクラブのような雰囲気の中で音楽を楽しみませんか?子供から大人まで楽しめるクリスマスパーティーです。吹奏楽団による生演奏、合唱団のコーラス、町内のミュージシャンによる音楽の演奏などもたくさん!サンタクロースも来ますよ~!軽食もご用意しておりますが、各自食事の持ち込みもOK! ソフトドリンクやアルコールの持ち込みは各自でお願いいたします。カフェコーナーやアクセサリーの販売もあります。



「もっと使ってほしい」制度を作る



叫ぶだけでなく

あなたもやってみよう

みんなの「やりたい」を

大刀洗町がサポートします

だれでも WORKSHOP — タチアライ —



What

あなたが大刀洗町の校区センター等を活用し、講座やワークショップ、イベント等を開催する際に要する経費の一部を大刀洗町が補助する制度です。



Who

大刀洗町民や町内で働いている方。また、たちあらい応援大使の方々が対象となります。
(誰でも、たちあらい応援大使になることができます！)



How

例えば、パン教室やヨガ教室、お絵かきワークショップなど、あなたに自由に企画していただき、その経費を大刀洗町が補助します。



早速、大刀洗町役場に問い合わせるもー。

詳細は裏面へ



だれでも WORKSHOP — タチアライ —

“だれでもWORKSHOPタチアライ”とは？

大刀洗町の公共空間を「出会い・学び・発見」の場として、多くの方々に活用して頂くため、皆さんが企画したワークショップ開催を、町が補助する制度です。



※大刀洗町が推進する「地方創生」よからず町並みプロジェクトの公共空間活性化事業の補助金制度です。



Q.1

だれでも主催できるの？

どなたでも主催できます。

- ・町内在住、在勤又は、たちあらい応援大使の方
- ・チラシを作成して町内外に告知できる方(町のHPでも掲載します)
- ・営利目的としないワークショップを開催される方
- ・3名以上の参加者でワークショップを開催可能な方



Q.2

どこで開催できるの？

町内の公共施設を使用できます。

- ・大刀洗ドリームセンター
- ・中央公民館
- ・4校区センター(憩いの園大塚交流センター、ふれあいセンター、南部コミュニティセンター、就業改善センター)



Q.3

補助金について詳しく教えてください

補助金額は最大3万円まで。

ただし、補助対象経費から収入を除いた額とします。

補助対象経費とは。

- ・実費(食材を含む材料費、印刷費、消耗品費、通信運搬費、会場使用料、旅費等)
- ・講師や専門家等への謝礼
- ・その他講座等を行うために町長が必要と認めた経費

※対象外経費

- (1) 備品購入費 (2) 交付対象事業に直接関係のない経費
- (3) 講座等の遂行に必要と認められない食費費



公共空間 たちあらい 検索

お問い合わせ



大刀洗町役場 地域振興課 自治振興係

Tel 0942-77-0173 Fax 0942-77-3063

✉ chllkidukur01@town.tachiarai.fukuoka.jp

公共空間活性化補助事業

校区センター等でイベントを開催した際に、最大3万円の補助。

(例) 過去開催企画

- ・サマーマルシェ
- ・笑いヨガ教室
- ・ガラス細工教室
- ・産前産後サポートフェア等

新しい地域コミュニティフォーラム



10年の節目に今までの取組を振り返り、今後どう進めていくかを話し合いました。



総合計画校区別構想



未来を担う中高生
も多く参加しました。



大堰校区

野菜も人も大きく育つ地域づくり ～水と緑を活かした大堰～

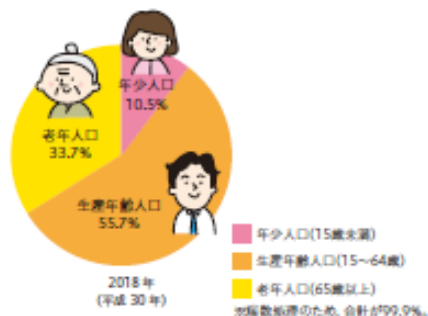
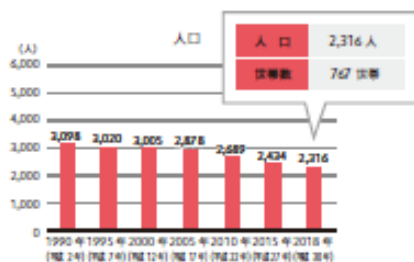
筑後川をはじめとする7つの河川が流れ、初夏に小石原川や三川地区でホタルが飛び交う様子を眺めることができ、水の流れる感じられる恵まれた環境です。

地域の大部分が豊かな土壌を活かして農地として利用され、ネギやホウレンソウ、レタスといった野菜の栽培が盛んです。

歴史的には、大刀洗町、久留米市、小都市等の広大な田に水を送る「床島堰」や、堰の建設に尽力した五庄屋を祭る「大堰神社」があります。

西鉄大堰駅周辺に公民館や図書館、庁舎等の公共施設が集まっています。

地域データ 出典：住民基本台帳



ここが魅力

ホタルの生育環境を整えたから、小石原川で毎年ホタルが飛ぶようになった。



新鮮な野菜が豊富で美味しい。



地域で交流できる夏祭りが楽しい。



自然が豊かで、空気が美味しい。



子ども見守り隊の活動が盛んなので、安心して子どもが登校できる。



筑紫次郎とも呼ばれる筑後川が流れている。



課題とわたしたちができること

課題1 | 地域のことをよく知らない

- 積極的に地域に関わっている人を除いて、自分たちの地域のことをよく知らない人が多い。
- ホタルの保全活動が盛んだが、活動を知らない人も多く、もっと多くの人に知ってもらいたい。

わたしたちができること | 地域のことを知ろう、魅力を伝えよう

- 校区センターへ行き、地域の情報を集める。
- 友人等誰かに紹介できるくらい、地域のことを調べてみる。

課題2 | 個人で解決できない困りごとがある

- 運転免許証を自主返納したことで、買い物や通院に困っている人がいる。
- 一部の行政区や個人間で行われている買い物等の送迎支援を、校区全体に広げたい。

わたしたちができること | 無理のない範囲で気持ちよく助け合おう

- 助け合いを長く続けていけるように、特定の個人に負担がかかる方法は避け、近隣住民同士、負担にならない範囲で助け合う。
- 近所の人、特に独居高齢者世帯の様子を気にかける等、出来ることから始める。

課題3 | 人口が減少傾向にある

- 10年前と比べると、人口が減ってきている。
- 空き家が増えてきている。

わたしたちができること | 人口減少をポジティブに乗り切ろう

- 子育て世代が住みやすい地域づくりを考える。
- 人口が減っても、住んでいる人が住みやすい地域であり続けることが大切。そのための地域づくりを考えていく。

3-3 組織体系について

地域振興課長

企画係 4名

- ・総合計画、地方創生
- ・PFI事業、空き家バンク
- ・広報、情報発信
- ・公共交通 など

自治振興係 3名

※係長は課長と兼務。

- ・区長会、校区コミュニティ
- ・ふるさと納税
- ・観光
- ・ドリームまつり
- ・海外事業
- ・枝豆収穫祭
- ・NPO、ボランティア
- ・地域おこし協力隊など

電算係 2名

電算のこと

まとめ

【成果】

- ①各校区、自立して、多くの方が参画し校区センターを運営している。
- ②対話を軸に「やりたい」を引き出した結果、新たな企画が多く出てきて、地域の活性化につながっている。（認知症SOS、塾、パソコン教室、健康講座、ダーツ教室、過去の豪雨災害の冊子作成、災害机上訓練、等々）
- ③校区を中心として、各行政区間のつながりも深まってきている。

【課題】

- ①取組を進めて、11年目となり、地域の担い手が高齢化している。
→現在、市町村研修所の四王寺塾(先進地視察)で課題解決策を研究中！

ご清聴ありがとうございました。